

# 平成30年度 第71回 全九州高等学校バスケットボール競技大会

女子決勝

主審 福岡 敏徳  
第1副審 森田 将史  
第2副審 仲間 芳幸

精華女子 67

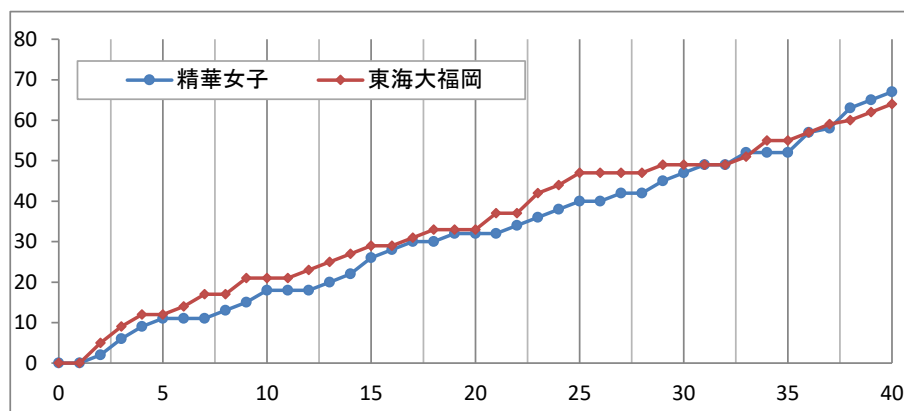
(福岡1位) ○

18	—	21
14	—	12
15	—	16
20	—	15
—	—	—

64 東海大福岡

● (福岡2位)

No. 17A3 日時: 2018年6月17日(日) 12:30 会場: 大村市体育文化センター



## 精華女子

No.	選手氏名	得点	3P	2P	FT	F
4	* 矢野 聖華 (C)	6	2	0	0	4
5	* 樋口 鈴乃	10	0	5	0	1
6	長谷川奈央	—	—	—	—	—
7	* 三浦 舞華	17	2	5	1	2
8	仲里紗々花	—	—	—	—	—
9	那須 楓	11	1	2	4	1
10	屋宜沙弥香	—	—	—	—	—
11	齋藤 風香	—	—	—	—	—
12	嵐 夏妃	—	—	—	—	—
13	吉原 陽世	—	—	—	—	—
14	* 中園陽菜乃	2	0	0	2	1
15	* 木村 瑞希	21	0	8	5	3
コーチ	大上 晴司	—	—	—	—	0
合計		67	5	20	12	12

## 東海大福岡

No.	選手氏名	得点	3P	2P	FT	F
4	緒方 偲乃	—	—	—	—	—
5	* 内藤 唯	19	1	7	2	2
6	* 藤井 愛理	17	3	3	2	1
7	稲福 七海	6	0	3	0	4
8	* 井浦 菜依	8	0	4	0	3
9	岡崎 桜	9	0	4	1	3
10	* 田代 ゆい	2	0	1	0	2
11	崎濱 琉花 (C)	—	—	—	—	—
12	竹元 琴音	—	—	—	—	—
13	* 米倉 七海	3	0	1	1	4
14	吉末 菜桜	—	—	—	—	—
15	木寺 智美	—	—	—	—	—
コーチ	宮崎 優介	—	—	—	—	0
合計		64	4	23	6	19

\*…スターター (C)…キャプテン 3P…3点シュート 2P…2点シュート FT…フリースロー F…ファウル

## 戦評

福岡同県対決となった決勝戦。第1Qお互いハーフコートマンツーマンでスタート。東海大福岡#5のフリースローや3Pで先制するとバランスよく得点を重ねる。一方、精華女子は#15のインサイドプレイや#5のドライブインなどで対抗し21-18東海大福岡リードで第1Q終了。第2Q、開始3分間お互い得点することができない時間帯が続くが、東海大福岡は#5のジャンプシュートで得点すると#8のジャンプシュートなどで加点し7点をリードする。しかし、精華女子も#7や#9のドライブインなどで盛り返し33-32東海大福岡1点リードで前半を終了。

第3Q、東海大福岡は#5のジャンプシュートや#6の連続3Pなどにより開始5分で47-38とリードする。精華女子はタイムアウトで体勢を立て直しに入り#15のゴール下シュートなどで得点差を詰めるが、東海大福岡がルーズボールやリバウンドを粘り、49-47東海大福岡2点リードで第4Qへ。勝負のかかった第4Q、精華女子#15のリバウンドシュートでついに同点とするが、その後、東海大福岡#5のジャンプシュート、精華女子#7の3Pなどで一進一退となる。残り2分42秒精華女子#7の3Pが決まり63-60精華女子3点リード。東海大福岡はタイムアウトを取ると#9のステップインで1点差。精華女子#15のゴール下で再び3点リード。残り42秒東海大福岡はタイムアウトを取り、最後の指示を与える。#9のドライブインで1点差。残り25秒、精華女子はタイムアウトを取ると冷静にゲームをコントロールし、2点を加え67-64で見事に優勝を果たした。決勝戦にふさわしい手に汗握る熱戦であった。

記者者 大久保千万太 (所属) 長崎県高体連バスケットボール専門部